

改定案の考え方について

1 道路占用料の算定式

$$\text{占用料の額 (円/年)} = \text{①道路価格 (円/㎡)} \times \text{②使用料率 (\%/年)} \times \text{③占用面積 (㎡)} \left(\times \text{④修正率 (\%)} \right)$$

- ※ 道路価格：評価額に基づいて算出した価格
 使用料率：地価に対する1年当たりの賃料の割合に相当する率
 占用面積：各占用物件の投影面積（看板等は表示面積）
 修正率：地上を使用する場合を1として、道路空間の一部を使用する物件等について調整するための率

2 各算定要素について

①道路価格

	①(平均地目)	①(商業地目)
道路価格	126,322 円	318,944 円

②使用料率

分類	地目	②使用料率 (%)
定額物件	平均地目	4.64
	商業地目	3.86

③占用面積

各占用物件の投影面積（看板等は表示面積）

④修正率（一部抜粋）

占用物件		④修正率
上空に設けるもの	共架電線等、通路	5/10
地下	地下埋設物等、通路	3/10
修正なし		1

3 主な占用料算定式

(1) 地上物件 (第二種電柱)

$$\textcircled{1}(\text{平均地目}) \times \textcircled{2} \times \textcircled{3} \times \textcircled{4}$$

$$126,322 \text{ 円}/\text{m}^2 \times 0.0464 \times 0.86 \text{ m}^2 \times 1 = 5,041 \text{ 円} \doteq 5,000 \text{ 円}/\text{年}$$

(2) 地下物件 ($\phi 0.1\text{m}$ 以下ガス管等)

$$\textcircled{1}(\text{平均地目}) \times \textcircled{2} \times \textcircled{3} \times \textcircled{4}$$

$$126,322 \text{ 円}/\text{m}^2 \times 0.0464 \times 0.10 \text{ m}^2 \times 3/10 = 176 \text{ 円} \doteq 180 \text{ 円}/\text{年}$$

(3) 看板

$$\textcircled{1}(\text{商業地目}) \times \textcircled{2} \times \textcircled{3} \times \textcircled{4}$$

$$318,944 \text{ 円}/\text{m}^2 \times 0.0386 \times 1.0 \text{ m}^2 \times 1 = 12,311 \text{ 円} \doteq 12,000 \text{ 円}/\text{年}$$